10月17日 月曜日 16日発行
昭和30年 西暦1955年

# 内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5

第3250号


天気予報
今晩 北の風時々曇、明日 北のち南寄りの風時々曇、気温平年並み



# 三蔵法師の遺骨 中国へ分骨決る
## 来月末代表が台湾に届ける

西遊記の中で"三蔵法師"として広く親しまれている玄奘三蔵（げんじょうさんぞう）の遺骨は、戦時中大陸の戦火を避けるため仏教関係の人たちが日本に持ち帰り、埼玉県岩槻市慈恩寺町にある天台宗、住職大島正道師＝に手厚く葬られていたが、このほど在日中国大使館を通じて中国仏教会から"ぜひ分骨してほしい"と申出があった。大島住職は埼玉県仏教会と連絡、全日本仏教会の意向もきいて分骨が決り、中国の受入れ態勢が整ったので、埼玉県仏教会会長、真言宗智山派管長倉持秀峯師を団長に使節団が十一月末台湾に渡り、仏教会を通じて中国側の代表に手渡すことになった。

日本軍が南京を占領していた当時、中国の民衆が日本軍の手を逃れた当時の派遣員大島正道、水野梅暁両師らと一緒に持ち帰った。一たん東京に安置したが、空襲がひどくなったので現在の慈恩寺に移し、一昨年には中国式九重の石塔を建て供養を行なった。ところが去る二十七年九月東京で開かれた第二回世界仏教徒会議に出席した中国代表がこの話を聞き「ぜひ分骨してほしい」と申出た。同代表は台湾に帰国してから中国仏教会を動かし、このほど分骨を収める寺院の建設もほぼ決まったものである。

注＝玄奘三蔵は中国法相宗の開祖で、隋の文帝仁寿三年（西暦六百二年）洛州の緱氏県（河南省）に生れた。十三才で浄土寺に入って得度を受け、二十六才から十七年間、インドへおもむき仏跡を巡礼、多くの仏典を持ち帰り長安に帰着訳経に手をつけ、経論七十五部、千三百三十五巻を訳した。六十三才で没するまで三千人の門下生を数えた。





# 双十節慶祝 台北と東京

＝既報＝中華民国国四十四年の国慶日双十節を迎えて東京在住の華僑は十日午前十時から中野区公会堂で慶祝大会を開いた。また駐日大使館でも同日午後五時から祝賀会を催し、高松宮、谷総裁、石橋通産大臣、谷外務省顧問、アリソン駐日アメリカ大使ら各国駐日使節、日本各界の名士ら約二千五百名が出席、空前の盛況だった。

写真 左は三軍将兵を閲兵する蔣介石総統（本社台湾分社発） 右は東京在住華僑の慶祝大会

# "国防軍"見送り
## 『省』昇格、本格的検討へ

防衛庁は砂田長官の構想にもとづく国防省設置について通常国会に関係法案提出を目途に今から事務当局の試案を中心に本格的検討を開始する。同庁はこれにさきだち十五日午前砂田長官を中心に首脳部が集り同問題の取扱いについて協議した。この結果国防省設置にあたって問題となっている❶内閣総理大臣と国防大臣との関係❷軍令と軍政の問題❸国防軍の設置❹呼称の問題❺機構の問題についてつぎのような基本方針を内定。

一、国防省は内閣総理大臣の指揮監督下におく。

一、国防省には内務部局として大臣官房、幕僚部（部の下に第一部から五部までを設ける。

一、陸海空三自衛隊にそれぞれ司令部を設け教育、訓練だけを実施する。

# 日伊通商議定書に仮調印

【ローマ十五日発ロイター＝共同】下田外務省経済局第六課長は八月末以来ローマでイタリア政府代表と通商交渉を行なっていたが、両国代表は十五日通商議定書に仮調印した。議定書の骨子は現行のオープンアカウント（清算勘定）を明年一月十四日まで延長し右期限以後は自由通貨で取引されるものとし、その大部分または全部は政府の許可を受ける。

# ペロン前大統領軍事裁判へ

【ブエノスアイレス十五日発AP＝共同】アルゼンチン政府は十五日、パラグァイに亡命中のペロン前大統領を欠席のまま軍事裁判にかけると発表、カルロス・ベック将軍を裁判長に任命した。

# 中共のミグ一機を撃墜

【台北十五日発ロイター＝共同】国府空軍当局が十五日発表したところによれば、国府空軍のジェット機は十五日浙江省南部の海岸で中共軍のミグ機一機を撃墜した。



# 信任の望み強まる
## 仏内閣 モロッコに摂政会議

【パリ十五日発ロイター＝共同】仏政府は十五日夜、二週間前に退位したベン・アラファ首長の代わりにモロッコに摂政会議を設置する旨発表した。同会議はエル・モクリ（首相）ベン・スビヒ（サレ土侯）シ・ベッカイ（セフルー前土侯）タハル（ベルベル族酋長）の四名から構成される。

去る八月のエクス・レバン協定によれば三名からなる摂政会議が設置されることになっていたが右派の圧力のため実現が延びていたものである。信頼すべき筋によれば仏政府は民族主義者と保守派の両勢力の均衡を保つため摂政会議の定員を三名から四名にふやすことに決定したといわれる。

摂政会議の設置発表によりフォール首相は十八日アルジェリア問題に関する国民議会の信任投票では成功の見通しが強まった。社会党はモロッコ改革案が即時実行されることを条件としてフォール首相のモロッコ政策を支持しており、従ってフォール首相がモロッコ政策の実行をはっきりと示すならば社会党はアルジェリア問題の表決でも反対から棄権にまわる見込みがあり、そうなればフォール内閣も存続の見通しが強まるわけだ。

# 暫定的な欧州安保条約提唱
## ロンドン・タイムス紙

【ロンドン十五日発ロイター＝共同】ロンドン・タイムスは十五日付紙上で、欧州集団安全保障条約について論じ『将来におけるドイツ統一を決して不可能にしないような暫定的な欧州安全保障条約をソ連と結ぶことは不可能だろうか』と述べ、注目をひいている。



写真はユリアナ女王の父君の名のついているプリンス・ヘンリー運河、前方の寺院は、アムステルダムで一番大きいセント・ニコラス教会

# 欧州かけある記
近藤天

アムステルダム

# 北欧のヴェニス
## 富裕国の伝統に生きる市民

アムステルダムを訪問する――いまの日本には余り縁のないオランダの大都市だが、織田幹雄選手が三段跳に優勝し、はじめて日の丸を掲げた第九回オリンピックの開催地である。

オランダは低地の国として有名だが、アムステルダムは海港だけに、ことに水と縁がふかい。大小の運河が縦横に市街を区ぎっていて、北方のヴェニスの観がある。旧市内だけでも橋が三百もあって九十の『島』をつないでいる。この運河が唯一の観光交通路で、遊覧船が外国客をのせて橋の下をくぐっている。一時間半ほどで、ひと通りの見物ができ、なかなか楽しい。

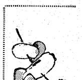
アムステルダムはかつては国際金融の中心だったし、昔から交通の中心地で、港湾施設もりっぱで外国客の訪問が多い。人口八十五万、パリにくらべるとずっと落着いており、市民も、ガツガツしていない。第二次大戦後、宝庫インドネシアの独立や何やで、打撃を受けているが、戦前の富裕国の伝統が失われていないのだろう。石油のダッチ・シェルや電気機械のフィリップスなどは依然として世界的である。

近代建築も多いが、古い十六世紀時代の家が、右に左に傾斜して建っている。地震国のわれわれには、そのまま河へポシャッといきそうで気になるが、地震のないこの国の国民は、悠々と、この傾いた家に住んでいる。観光客が多い理由はもちろん景色のいいせいもあるが、物価が安いからだ。だから物価の高いパリではアメリカ人が目につくが、ここではヨーロッパ各国の客が多い。

オランダ人の家庭生活は非常に堅実で、休みのリクリエーションは一家そろってのサイクリング（自転車）の遠乗りが多い。自転車はとにかく多く、オリンピック競技場もいまは自転車競技場になっている。やたらに自動車をもちたがる日本人とは違って健康的だ。政府も民心をつかんでいて、郊外にモダンなアパートが続々と建てられている。排水に使われた古い風車が点々と残り対照が印象的だ。

レストランやバーは英語が通じて便利だ。ただしお国柄だけに色ごのみの旅人にはいい所とはいえない。そのせいか日本の代議士諸公もあまり訪れない。

（筆者は本社監査役）





# 粋人酔筆

# 芥川龍之介の叔父

ある年の十二月十四日、しかも雪の降る夜の十二時すぎ、といっても、むろん江戸時代だが、浅草寝釈迦堂の河竹黙阿弥（当時はまだ新七）の家の門を、トントンと叩いて、『開門、開門』と呼ぶ、多勢の声がした。黙阿弥は書き物をして、まだ起きていたので、びっくりして表をあけると、ドヤドヤとくり込んで来た一隊――先頭は山城河岸の津藤で由良之助という見得。紙の采配を振って『それ、入れ』というと、あとからドンドンと山鹿流式の太鼓を鳴らしながら飛び込んだのは鏑木清方画伯のお父さん、山々亭有人で、つづいたのが柳下亭種員、仮名垣魯文、梅素玄魚、四方梅彦、梅の屋鶴寿、落合芳幾といった、いずれ劣らぬ当時の通人たちである。

討入りの茶番ということは、すぐにわかったから、黙阿弥は家の者を起して、熱い茶を出した上、もらった蜜柑の箱を物置から持ってきて、『中間元助が寸志の蜜柑』と一同にふるまった。討入りの晩に義士の家来が、蜜柑を持ち込んだのを、早速に当てはめたのだ。津藤らは黙阿弥を師直に見立てたので、『ソレ師直を引立てて、炭部屋へ連れてゆけ』と命令した。黙阿弥は雪の夜道を、雷門のほうへ引立てられた。そのころ広小路に隅屋という有名な料理店があった。名前が似ているので前もって注文しておいたから、隅屋では夜更けに赤々と蠟燭を照らして待っていた。一同ドヤドヤと入り込み、徹宵して飲んだという。

まことに八笑人式な、洒落のめした生活である。いかにも天下泰平な、ノンビリした世相を想像させるが、どうしてどうして、天下泰平どころか、徳川の政治が今にも崩れ落ちようという、幕末の出来事なのである。当時の民衆と政治とは、これほどかけはなれていたものだ。

津藤というのは、新橋の山城河岸に家のあった、津の国屋藤次郎のことである。祖父が大名のお金御用達をしてウンと貯めたので、長者番付にのるほどの金持ちだったが、売り家と書くたとえのとおり、三代目の彼に至って、家は傾きはじめた。それも当然で、金もうけは一つもせず、吉原や芝居町はもちろんあらゆる遊び場で湯水のように金を使ったのであった。どこへ行っても今紀文と呼ばれた。吉原の玉屋から、若紫というおいらんを引かせて女房にした。このおいらんは、廓育ちに似ず、まじめな女でおちぶれた後も、よくつかえていたそうだ。

役者では河原崎権十郎（後の九代目団十郎）作者では黙阿弥を若いときからひいきにして、二人のためには、ずいぶん金を使ったものだ。これは単なる好ききらいではなかったらしい。二人は将来見込みがあると、見当をつけたためのようだ。二人とも、その恩に感謝していた。黙阿弥は小団次に、『花川戸助六』を書きおろしたとき、吉原の場へ紀伊国屋文左衛門という役を出して、権十郎にやらせた。これは全く津藤を当て込んだもので、衣裳から持ち物まで、そっくり津藤の真似をさせた。

きれいさっぱり財産を使い果し、文久三年には、下総の寒川というところへ、女房と子供の三人きりで逼塞（ひっそく）した。権十郎と黙阿弥だけでなく、津藤をとりまく通人は山のようにいたのだが、没落の後、津藤を訪ねたのは、黙阿弥と、浴衣屋の竺仙だけだったそうだ。黙阿弥は津藤を、梅阿弥の名で芝居番付の作者の部にならべた。恐らくこれで、若干の金が送れたのではなかろうか――寒川から四年目に、また江戸へ帰ってきたが、なんの仕事もせず、明治三年に死んだ。四十九才。

三代目津の国屋藤次郎が、すなわち芥川龍之介の叔父さんである。

邦枝完二

# 日曜論評
## 二大政党対立へ

統一社会党の実現から保守合同に対する世間の関心がさらに強まったようである。社会党の統一はとっくに予定されたことだから、いよいよ実現したとても、保守政党が慌てるわけはないのだが、それに拘らず新社会党が衆院において第二党となり、参両院を合すると第一党となった事実を現実に見るに及んでは保守政党では、ますます合同の必要を痛感するに至ったのは事実に違いない。

社会党統一のあとを見ると、最後まで左右両派でもみ抜いた末に合同の急務を感じたのは当然であろう。

保守合同の問題は、最近に至って民主党内部がようやく合同へと意見がまとまるようになり、今後は主として民主党対自由党の折衝に待つことになって来たが、合同の最大のガンである総裁公選の点が、なお両党間で解決がつかないようである。さる十四日の自由党首脳会議でも、従来の主張を再確認したというから、両党間の妥結まではなお時日を要しよう。しかし世論の要望と時流の急調とが、合同実現の時期を促進しつつある事実を認めないわけにはゆかない。

保守合同が民主党で期待しているように、年内に実現するかどうか疑問であるにしても、遠からず実現するものとして、その実現の暁においては、保守新党はもちろん第一党となって、社会党の発言力に対して、民主党も、自由党も、保守政党として改めて切実に合同の急務を感じたのである。

だから、この増強された新社会党は、近い将来には考えられないことで再び分裂するようなことは、ないが、それかといって、争の激しさが思いやられるもので、今後の派閥闘争の激しさが思いやられる。ここに初めて保守、革新の二大政党の対立を見ることとなるわけである。

保守合同が実現しても、やはり社会党に見られるような派閥闘争が激しく行われるものと予想せざるを得ないが、これも少くとも当分は大きな破たんを来すことなく維持されるだろう。しかしわが政党の分派争いは、多年の小党分立に見られるように激しいのであるから、たとえ一応形のうえでは合同が成っても従来の弊が一掃されようとは思われない。そこで、またもや分裂して以前のような状態に返る心配がないとはいい切れないのである。

保守と社会主義の二大政党の対立は、政党政治の理想として、わが国でも久しく待望されて来たものであるから、いよいよその実現の可能性が加わるに従って、われわれは今から保守合同とともに健全な二大政党の発達を祈らないではいられない。それにしても、差当り保守合同が先決問題であるから、民主、自由両党の指導者はこの心をもって合同に当るよう要望したい。保守も革新も互いに醜い分派争いを自省し、ともに堂々たる闘いを進めてほしいものである。

# 今冬の家庭用燃料
## スミは値上り気味
### コンロの普及で嫌われる薪

都経済局林務課・問屋筋調べ

朝夕めっきり肌寒さを覚えると、毎年のことだが――木炭、薪の値段が気になってくる。そこで今冬の家庭用燃料およびプロパンガス・ストーブ、火鉢の値段について、都経済局林務課と問屋筋にきいてみた。

△木炭＝夏ごろの予想では、値上りはあるまいといわれていたが異例の大豊作で原木伐採の労力がぬかれたためと産地の生産が少いなどの理由から、一俵につき一〇―二〇円ぐらいの値上りはまぬがれないようだ。現在の相場は『ナラ丸』が一俵五一〇円『割り炭』が四七五―四八〇円見当というところ。

△薪＝去年と全く同じ、少しの変動もなく、現在堅木一束六五円、雑マキ（製材マキ）六〇円で値上りしても一、二円高程度。新炭の現在の入荷状況は、一般家庭のガス、石油コンロの普及で需要が減ったため、入荷は減少の一途を辿っている。

△プロパンガス・ストーブ＝今年はメーカーの手配がよかった為例年より半月ほど早く出回った。売行きも悪くなく、メーカー品で一日百台ぐらい出る。値段は昨年より一、二割高く、豊作ブームの農村からの注文が特に多いそうだ。

△火鉢＝六五〇円―七〇〇円ぐらいが一番売行きがよく一日五、六個から十個ぐらいの売行き、メーカー品の焼物も一千五百円見当はちょっと出にくいそうだ。



ないがい川柳 吉田林司選

老将軍砂田ラッパに腰のばし　世田谷　柴崎　臥龍
ドブ板を鳴らして帰るハイヒール　北　江森　広信
豊作へご苦労様と税吏の眼　福島　佐々木正文
スレスレの歌詞でレコードよく売れる　北　松本いわを
オートバイ豊作という音で乗り　市川　川縞火呂志
貸ボート男同士はやけに漕ぎ　大田　鈴木　一正
【賞】赤い羽根針だけ残るようにでき　荒川　山谷凡句羅

# 内外抄

『総裁鳩山、幹事長岸』で自由党に呼びかけようと民主党。虫がいいのか、ずうずうしいのか。

◇

国防省には改めるが国防軍とはせぬそうな。ラッパ長官、珍らしや名を捨てて実をとる戦法。

◇

小笠原島民代表の渡米、島民の言い分を十分にきくとのダレス長官の言い分で出かけた正直者。

◇

いよいよウラン探しに鉦や太鼓、飛行機で飛び回る。ヤマ師の夢は荒れ山を馳けめぐる。

◇

飯田中学の生徒が育てた並木のリンゴが盗まれた話。生徒やリンゴの気持が分らぬ泥棒。

# 青春無宿

大林清
下高原健二画
(159)

ねらう男（一）

明るい陽ざしの中へ出ると、光代はめまいをおぼえた。昨夜から何も喉を通していないせいもあるが、大病の後のように憔悴してしまった感じだった。

『そこらで何か食って行くかね』

先に立っていた木島武吉が、光代と弥一をかえりみた。

『そうですねえ』

弥一が満更でない返事をした。光代は道をあるくのさえ、人に見られているようで嫌だった。誰もが昨夜の事件を知っていて、まるで殺人犯人でも見るような眼をむける気がするのだ。

『な、いいだろう光代さん』

木島があらためて同意を求めたが、それを拒む勇気も光代にはなかった。

だいたい木島武吉が、父について警察へもらい下げに来ようなどとは夢にも思わなかった。人前に出るとろくにものも云えない弥一がたのんで、木島に同行してもらったにちがいないが、そんな香ばしくない役目を、どうして木島が快くひき受けたのか不思議だった。

『山下へでも出るか』

木島はそういうと、ふだんはバスへもめったに乗らない男なのに、気前よく通りがかりのタクシーを呼びとめた。

車へ乗ってからも、光代はなるべく外を見ないようにしていた。菅野に似たからだつきの通行人がやたらに眼について、その度に息がつまりそうになるのだ。眼をむいて悶絶していた菅野の恐ろしい形相が、網膜に焼きついてはなれなかった。

上野山下の表通りから横へ折れ、軒並み飲食店のな[illegible]横丁で、タクシーはと[illegible]

木島が先に立って[illegible]は、二階に座敷のある[illegible]った。その安っぽい[illegible]へ通ると、木島は先ず[illegible]食べたいかをきいた。

『一と晩でも暗いと[illegible]て来ると、何よりも[illegible]は食いもんなんだよ。[illegible]きなものを註文しよう[illegible]気味の悪いほどの[illegible]た。

結局、木島の見は[illegible]二、三品が註文され、先ず酒が運ばれて来た。

『お父っつァんの方は[illegible]

木島がそう云って[illegible]と、弥一はもうだらし[illegible]を崩して、

『まったくどうも、お[illegible]た上に御馳走になった[illegible]と、ペコペコするの[illegible]にかつえたように酒を[illegible]むのだった。

『ところで問題は昨夜[illegible]切手だがね』

木島は、これが本題[illegible]うに、弥一と光代を等[illegible]

『そうですな』

弥一は何も感じない[illegible]の空の合槌を打つ。

『そりゃ、あのまま銀[illegible]ば、落ちるにゃちがい[illegible]相手が死んだとなると[illegible]これは光代さんにきか[illegible]からないが、いったい[illegible]いう訳で、菅野って人[illegible]んだね』

木島は問いを光代へ[illegible]光代には答えられなか[illegible]深くうなだれたまま黙[illegible]



# 大当り　桃色映画　ご用　アチラの話

# 毒された紳士淑女

## 一般家庭の夫婦も愛用？

美男美女が描くロマンチックな恋物語などで魅了するハリウッド映画はアメリカにおける最も近代的な重要産業だが、ここでもう一つ、ふしぎな映画事業がある。しかもこの秘密の映画事業は、ハリウッドに負けないほどのばく大な興行収入をあげている。それは年収三億ドル（千八十億円）というY映画製作である。わが国の名だたる映画会社でも一年間に千億円もの収入をあげることはできない。アメリカ検察当局は最近総検挙に乗り出し、この恐るべき映画事業の内幕が明らかにされた―

者」も、男は浮浪者、女は下等な淫売婦などが安い賃金で使用されていたものである。しかし次第に観客の眼も肥え、好みも種々雑多となってくると、いい加減な一巻物では商品価値ゼロである。したがって業者はさらに質の向上を目ざし、最近では三十五ミリカメラを使用し、トーキー・システムを採用し、そのうえ天然色版まで製作されるようになり、いつの間にか農園が堂々たる撮影所になっていたという実例さえあった。

こうしてこの映画界にも美男美女が出現しスターが誕生したのである。現在ハリウッドの官能女優として活躍している中にはなんと、この桃色映画界からの出身者がいるという。ある肉体的魅力ナンバー[illegible]

### 天然色版も登場す
### 某スターは桃色映画出身

もともとこの映画の本場はフランスで、昨今わが国の好者のあいだでひそかに『封切られ』ていたものもフランス製で、とくにアメリカはさかんに輸入したものだが第二次大戦で輸入も思うにまかせなくなった。この事情が先ずアメリカ製の映画の自主的製作を促進した。やってみると簡単な仕掛で面白いほど儲かる。ベッドに鏡に椅子が一つか二つで十分なセットが出来上る。ある業者など、わずか五百ドルの投資で二十五万ドルもかせいだという。かくて抜け目のない悪徳業者たちはわれもわれもと桃色映画の製作に乗り出し、ロスアンゼルス、ニューヨーク、シカゴ、フィラデルフィアなどアメリカの主要都市で『秘密スタジオ』のないところはないほど発展をとげた。その結果、昨今では『八百屋で野菜を買うより簡単に、誰でも買うことができる』とこのほど検挙された一人の非合法映画屋がうそぶくほどである。しかもこれらの映画はふつうの家庭にも配達されるほどになっていた。つまり大抵の家庭の夫婦または恋人同士が、就寝前にちょっと刺激を得るにはもってこいだというわけで、必需品として常備するほどの普及ぶりだった。

### 『出演したい』と紳士たち

いかにアメリカとはいえ、桃色映画製作は大っぴらなものではなくすべて地下組織なものである。最初は十六ミリで、インチキホテルの一室や、空倉庫の奥などで深夜ひそかにお粗末な一巻物が撮影されるにすぎなかった。『役[illegible]



[illegible]

### 『映画のようにされた』と15少女

[illegible]『あたしパーティに行ったの。そしたら映画があったの。そして男の子たちよってたかってあたしに映画のとおりのことをしたの……』

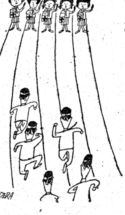
十六才の少年は、五十五才の老婆を鞭で乱打して重傷を負わせ起訴されたが、『ぼくは何が何だか夢中だったんだ、近所の人達が多勢集って面白い映画をうつした。ぼくも見たけどね、そのうちぼくは映画の男がしたように、急に女の躰にしてなぐりつけたい気持になったんだ』と告白している。このほか同様の原因で犯罪を犯した少年少女の例は数え切れないほど多いことが判るにつれ、こうした映画にたいする世論がたかまり、ついに当局も大英断をもって取締らざるをえなくなり、このほど全米にわたって悪徳映画業者の総検挙に乗り出したものである。

### 釜流亭界譚（日本）

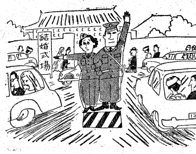
[illegible]に帰ったのは午前一時になってしまいました。『おい花[illegible]れけです。[illegible]帰ったぞ！』大変な勢[illegible]叩きますが、戸は一[illegible]きません。まさか外へ寝ることもできませんので、なおも怒鳴ったり叩いたりしていますとガラリと戸が開いてホーキを持った女房にいやといった叩かれたり、茶碗や洗[illegible]投げられたり、いやはやひどい騒ぎです。太郎君悲鳴を上げて逃げ出し、『うわ[illegible]家へ台風が上陸して[illegible]

# 漫画展　第8回

作品の発表は毎週木曜日（三面）と日曜日（本欄）の二回とし、優秀作品には特選の制を設け入選十回または特選に三回パスした方は『特別会員』として随時『漫画』などで活躍していただくことにしました。なお特選に特賞、入選作に賞金を贈ります。



障害物競走　小野寺宏―(初入選)―





交通整理　白吉辰三―(初入選)―



秋冷の候　織井いずる―(入選二回)―



虫干し　石川金太郎―(入選三回)―

### 新刊紹介

◇今日の精神医学（B・ライパア山田金一訳）ニューヨークの精神病院で精神病理学を担当する筆者が、子供のシツケが後年に及ぼす影響をはじめ夫婦間のトラブルの性心理的解剖とその対策や、現代病ノイローゼとサイコノイローゼの微妙な区別にいたるまで六十五の実例をあげて克明に分析している。事例の一つ一つにわれわれが日常体験する問題を捉えているので興味深く、読みながら読者に一ぱしの精神医学者になった感じを持たせる。（新書版二五八頁、一六〇円、教育書林）

### モダン歳々記　吉原再建願

明治五年十月二日付の太政官令で娼妓解放令が発布され、吉原その他の妓楼は大打撃を受けた。芸娼妓は牛馬と同じだから、そういうものと貸借関係を結んでも、法律的に無効だとやったのである。

この法律で一応娼妓はみんな解放されたわけだが、横浜ではその月に直ちに、今度は芸娼妓が自発的に解放後も営業をつづけたいから、許してくれと願い出て許可を受けて、従前通り商売を営んでいた。

神戸では十二月、京都の島原や長崎の丸山もこれに倣って自発的営業の形で許可を得、鑑札を貰ったが、明治政府のお膝元の吉原では、新築はもとより、火事で焼けた家の再建も許可にならず、ヤミ取引でその日くを送っていた。

明治六年七月にやっと相談の上会議所へ建白したが、これも梨のツブテである。十月も半ばになり中万字屋、越前屋、藤本屋は連署して陳情願書を差しだし、やらしてくれるか、くれないのかと尻をまくってみせた。これでやっと十一月から営業許可がとれた。政府も公娼解放のために私娼が市内に跋扈して風紀を紊すのに困り切っていたからである。（鮭）



# 海賊鍋誕生

## ＝トンチの面々が鯨食会＝

[illegible]とは相成ったが、そこは出たとこ勝負のとんちで吹き飛ばし、鯨食ホルモン学やくじらの夫婦和合法など談論風発、はては『くじらのジンギスカン鍋はおかしいよ、和寇鍋ってのはどうだい』との発言から、いや南海鍋でござる、海賊鍋がよろしかろうとてんでに命名。天高く馬肥ゆる秋の空の下、鯨のように泳ぎ回ろうとのどかな決議？をして、どうやらこうやら無事鯨の尾ひれ程度を食い納めた。写真（上）はその『海賊鍋』（中）は食えども食えども尽きることのないくじらに取組むメンメン（下）は『ホ、これはめくじらだよ』とめくじら立ててパクつく石黒ダンナ



### あすの運勢　高島象山
＝十月十七日＝

▲一月生―何事も初め勢いあるも中途より不安起り失望に至り易い
▲二月生―次第と難事も去り爽快なる活動状態起りて有利に転ずる
▲三月生―漸く難を去り好転して思いが叶い利達あり開業就職大吉
▲四月生―物事多事に流れ多端に失し確固たる信念を失い衰退する
▲五月生―気分も出て秩序も整い幸運発展あるなり新規はよくない
▲六月生―曇りのち晴れ晴天に至る如く爽快に進展する開業結婚吉
▲七月生―物に二心を抱き気迷い環境にあおられて失敗を招き易い
▲八月生―何事も自力独行屈せず努力すれば苦労はあるも目的達す
▲九月生―物事順調に進展し利達栄昌あり開業移転造作結婚は大吉
▲十月生―何事も保守的なれば都合よく進み大望は失敗の基を造る
▲十一月生―稼業に余念なく専心努力すれば順調に復し向上利達有
▲十二月生―物事面目を一新して躍進すれば成果愈々あがる開業吉

## 東海毒婦伝　青とかげ（100）

野沢純　作
土端一美　画

ながれ雲（七）

『とよきちー』

宿の粗末な鏡に向って、寝化粧をととのえながら、おりうの甘い声がした。

『お金いま、どのくらいあるの？』

『二百両と、まだ少々ばかり残っております』

『それ、みんな今そこに持ってるの？』

『とんでもないお嬢さん、そんなに大金を持って道中をするものではございません』

『では、いくらそこに持ってるの？』

『十五両と、あとは小出しでございます』

残りはみな両親にあずけて来たのだ。長年商家づとめをしていただけに、金の出し入れについては

ん。行って帰っても、まだタップリと残る筈でございます。よしんば途中で川止めがあったとしても、それだけの用意は出来ております』

『そおー』

いったきり、おりうは黙った。暫くしてから、ほんの微かなあくびをした。慣れない旅で、さすがに疲れたのであろう。

『お嬢さんーもうおやすみになりますか？』

『ええ、何だか眠くなったわ』

また小さいあくびが洩れた。

『それでは早くお休み下さい。明日の旅もまだございます』

豊吉は自分で立って次の間の、しとねの懸けを半分ばかり、折り返しておいて、

『さあどうぞー』



それほど万事が物堅い気性の豊吉だった。

鏡の中に映っている、おりうの顔が、どこか不服そうである。

もっとも、金のケタを知らない。米のなる木も此処へ来て、はじめて見たくらいのものである。

大奥づとめのお女中が、

『珍らしいものを見ましたぞえ。花が紫、木が紫で、その上、実まで紫の』

というから、何かと思えば茄子（ナス）だった―というひと口ばなしがあるが、まずはそんなところである。

が、当のおりうにしてみれば、少し水戸で早瀬に逢うからには、少しでもタクサン金を持っていたいーと思うのも無理ではない。

日頃から、金のことは一さいがっさい、ひとまかせの習慣がついているだけに、こんな時には、思いがけない不自由を感ずる。

『とよきちー十五両くらいで水戸まで行けるの？』

鬢搔（びんさし）で、両の鬢をとめながら、おりうは念のためのような訊き方をする。

『行けるどころではございませ

目もとで軽く促した。

おりうは朱珍の帯を解き、黄八丈のキモノをハラリと脱ぎすてて衣桁（いこう）にかけると、長襦袢に伊達巻一つのあで姿で床へ入った。

豊吉は、ふとんをそっとかけて抑える。

有明あんどんを、枕許へ引きよせておいて、やがて自分も寝間着に着かえ、隣りの夜具へ入ろうとすると、

『とよきちー お前は向うでお寝』

その一言で豊吉は、バネ仕かけのように、ギクリ！となった。

いわれるままに、無言で夜具を、隣りの部屋まで引きずった。間の襖も閉めきった。

『では、おやすみー』

わざとのような挨拶だった。

次の間から、微かにもれる行灯の、薄あかりの中で豊吉は、今しがたおりうが脱いで衣桁にかけた黄八丈の、まだほのかなぬくもりのあるキモノをとって、ひしと胸に抱きしめた。……浜小屋での、切ない思いが油然としてよみがえって来た。

# 悲劇／老らくの三角関係

## 教育大の女小使い殺しの顛末

# 世間話の友情が仇

## 嫉妬に狂った"おしゃれ婆さん"

## 一年越しの冷戦爆発


犯人荒井ハナ


殺された小林さん

なぜ六十ちかい婆さん同士が三角関係の愛情問題に狂い殺人事件までも起さねばならなかったか [illegible] 荒井ハナ(五七)=は特異 [illegible] 劇に終った老らく [illegible]

[illegible] といときさんを呼び出し、いときさんはそのままいつまでもお帰らなかっ [illegible] けに染って死んでいた。＝最初の発見者三村たけさん談＝殺されたところをみなかったといっている。ところが一年ほど前、同学部の会 [illegible] 下地常珍さん(五三)が病気により休職後復職してから下地さんをめぐって激しい老らくの三角関係が始った。いとさんの方は身寄りのない淋しさから下地さんとの交際を茶のみ相手として楽しみ、よく小使室の片隅で渋茶を飲みながら世間話に花をさかせて友情を深まらせていた。一方ハナの方では下地さんに対してはそれ以上の強い感情を抱き、しつっこいような派手な服装をして下地さん宅を訪れたり一緒に歩きまわっていた。こうしたハナの行動に下地さんの心は逆に心暖まるようないとさんへとひかれていった。（職員や近所の人々の話）下地さんの変心に恨をもったハナは老らくのしっとに狂いだし、これもあのいとがいるからだ、あいつを殺してやれといいだし、凶行の朝、ハナは近くの金物屋で刃渡り約二寸の包丁を買い求め何に食わぬ顔で学校に行っていとさんを呼びだしたのであった。事件後はなは一度モンペばきの作業姿で逃げたが直ぐ引き返し、通勤服に着がえて京王線で新宿、池袋を経て下地さんの自宅北多摩郡清瀬町芝山に行き、あの男も殺してやるのだと手提げ袋の中に血にまみれた包丁をにぎりしめながら夜十一時すぎ清瀬駅をウロウロしているところを張り込み中の代々木、田無署員に捕った。ハナは『一週間前に殺意を持った。殺したときは夢中だったがどうせ捕るなら下地さんも殺して自殺するつもりだった』と泣きながら自供している。

# 行楽に賑う秋晴れ日曜

十月も半ばは秋酣のきょう日曜日は朝から雲一つない秋晴れ、遊園地、グラウンドからは運動会の歓声が上り、釣り天狗は竿をかついで葛飾海岸などへハゼ釣り、郊外電車の各駅はハイキングの人でギッシリ。各街道はオートバイなどで遠乗りする人が引きもきらず。また岩手県水沢からこの朝国際親善ハトレースの参加ハト千羽が秋空に飛び立った。

# 可愛い"一日駅員"

## 鉄道記念日 慣れぬ手でチョッキン

▽…秋晴れの日曜日、ドッとくり出した人の波を小さな手でさばくこどもたちの姿が都内各駅でみられた。これは東鉄が十四日の鉄道記念日を祝って催した少年少女の一日駅員さん——車掌さん、機関士、助手、改札係、公安官などになって五百人の小、中学生が現場長からつけてもらった菊の花を胸にこの一日を楽しく過した。

▽…東京駅の改札口は中央区立常盤小学校六年の土井正武君(一二)が慣れない手つきで切符キリ。

▽…また午後零時半発の特急"はと"では車掌になった神田一ツ橋中学三年生高貫秀一君(一四)が展望車の前で"ミスはと"から花束を受けとり『車掌』の腕章もりりしく熱海まで一日車掌をつとめた。


なれない手付で切符をきる常盤小学校の生徒たち＝東京駅にて

## 子供連で賑う 日本シリーズ 第二日の火蓋

【大阪発】日本シリーズ第二戦は十六日午後二時から大阪球場で巨人一勝の後を受けて行われた。第一戦が早くも延長戦になったことは球趣をいやが上にも高まらせ、快晴、日曜という好条件が重って一日の行楽をスタンドに求めた子ども連れファンが早朝から詰めかけ九時開門と同時に入場、順調な出足、正午から打撃練習、フィールディングが行われた後、内外野を埋めた約二万八千の観衆注目のうちに島球審の右手が挙ってプレイが開始された。

## 変貌したXライン ⑨五反田



# 巧妙、手口に"蛸戦法"

## 今も変らぬ目黒川の流れ

○…『カメレオン五反田』という人がある。七色の虹のようにその時々により変るからだ。あの横丁この横丁が年一年とお化粧が兄してゆく。と同時に客ひき女も変っている。昨年Xラインで探訪した時には五反田らしい『ミシンを踏む女』というのが出現し話題の種をまいた。彼女はなんとか腕に職をつけたいところから洋裁学校に通い将来それで身を立てようと念願していた。名前はY子とかいい下ぶくれのした顔に眼がパッチリした可愛い女であった。学校の費用と生活に困るところから心なくも身を落したのだという。『こんなことをするのはいやなの、早く足を抜きたいわー』口ぐせのようにいっていた。そのころ、ここいらに立つ女のねらいは池上沿線の客をいかにつかむかにあった。銀座や新橋から流れてくる客なので、時間も遅く十時から十一時は普通、時には午前一、二時になることもある。そのため真夜中の客引コンクールには五反田の専売特許といわれ、お隣渋谷についで街の評判もかんばしくなかった。

○…いまは二年前のその頃と変ったが、目黒川の流れは相変らず汚く昔と変らない、大通りの客引の姿はきえたが手放しの安心感ではいられない。お色気戦法は今でも結構お盛んだからであり、つい最近も鼻の下を長くしていたら財布がガタガタ?になったと訴えてきた人もある。駅裏の三興会F氏も『こういった店は組合でどしどし取締っている』といっているが、内心は悪質な店がまだあるので弱っているようだ。ともかく取締が厳しくなった昨今は手口が巧妙になり蛸戦法といってこれと思う"ツボ"をつかんだら最後まで離さずネバルそうである。これには警察も手を焼いているが『でも二年前に比べれば穏やかになりました』というのであった。【写真は五反田有楽街】

# 女家主、逃げ遅れ焼死

## 銀座の朝火事、三棟を焼く

十六日午前九時五十六分ごろ中央区銀座西八の九無職松岡ふじさん(五三)宅から出火。松岡さんが貸している二階のバー『リング』バー『サンチエ』など木造モルタル塗三棟約三十五坪を全半焼して同十時二十分ごろ鎮火した。この際逃げ遅れた松岡さんは焼死した。松岡さんは最近夫と死別、家屋をバー『リング』などに貸して生活していたものだが、火災原因は築地署の調べによると松岡さん方の残り火の不始末らしい。損害調査中。


銀座朝火事の現場

## 板橋に放火

十六日午前二時半ごろ板橋区板橋三の四六一日本紙加工業株式会社（社長伊藤栄氏）の事務所の窓ガラスがこわれる声に二階に寝ていた宿直員の蛭田由昭さん(一九)がかけつけてみると、室内のボール紙が燃えているのであわてて消し止めた。

## 映画製作と募金

### 売春禁止法制促委が更生援助へ

全国三十三の各種婦人団体で結成されている売春禁止法制定促進委員会（委員長＝久布白オチミ女史）は十五日夜参院会館で開かれた同委員会で国民募金（署名）運動と記録映画製作に乗出すことを決定した。募金運動は国民一般から売春禁止法制定運動に参加の署名を求めるとともに一口一円以上（都市では十円以上）の募金を行い、更生援助などの運動資金に当てようというもの。記録映画は当面二百万円程度の予算で二巻ないし三巻の短編映画を製作、売春禁止法制定への理解を深めようというもの。

# カーテンドロ頻々

## 小中学校を荒し回る

小、中学校のカーテン専門に東京、神奈川、静岡をまたに荒しまわる泥棒を警視庁、神奈川、静岡両県警本部が捜査している。このカーテン泥棒はさる二月七日小田原市井細田七号市立井細田小学校講堂から引幕やカーテン八枚（四千円相当）を盗んだのを手始めに三月二日秦野市西秦野中学校、六月五日高座郡座間第一小学校、同二十九日同市本町中学校の各学校でカーテン、引幕など百十四枚を盗み七月静岡県方面へも足を延しさらに最近では東京都大田区大森、世田谷、立川などにも犯行範囲を拡げている。現在までに被害届を出した小、中学校は四十校を越えカーテン五百枚、引幕五十枚、合計四十万円相当が盗まれている。犯人は必ず講堂の窓をこじ開けて侵入、舞台の引幕やピアノのカバーなどを鋏で切りとったうえ盗んだカーテンにくるんで逃走している。

# 酔どれ亭主を絞殺

## 川崎 朝帰りで口論の末

【川崎発】十六日午前七時ごろ川崎市諏訪町一五四会社員小黒祐次さん妻きく(四五)は夫を殺したと川崎署に自首した。調べによるときくは同日午前二時ごろ酔って帰宅した夫祐次さん(四五)と口論、細ひもで絞殺したもの。

## 放り出して逃走

### 渋谷に自動車強盗

十六日午前二時ごろ渋谷区代々木初台東洋交通運転手横田豊さん(四〇)は二十才前後白レインコートを着た若い男を国電有楽町駅付近から渋谷までの約束で乗せ渋谷区南平台町四一先にさしかかったところ男はいきなり停車を命じ背後から首を絞め横田さんを車外に放り出したまま車を奪って逃走した。

## こぼれ話

# 狂言強盗、顔に"不浄の血"

## 老刑事、アバズレ女にまんまと一杯

☆…事件は十日の夕刻、場所は練馬区中村丘Eハウス二十三、四の娘？が殴られ鼻血を出して倒れていた。係官が現場へゆくと娘はハンカチで鼻を押え口紅、白粉などがあたりに散乱、身許を調べたところ渋谷区原宿一の一四七無職山本正子(二三)とわかった。彼女の申立によると練馬の自衛隊にいる彼氏をたずねる途中道に迷い、自転車を引いた中年の百姓風の男にたずねたところ、いきなり顔を殴られ千七百七十円在中の財布をとられたとのこと。早速隣接各署に手配した。女は一銭もないとのことに係官が同情百円貸したところ「あすは必ずお返しします」と立ち去った。二日たっても三日たっても彼女は現われずたまたま原宿方面に用のあった刑事が彼女宅に行ってみると、二年ほど前にちょっと下宿したことがありますがあの人はズベ公で嘘つきだとの話に完全に当局はこの女にノックアウト。それにしても不思議なのはあの鼻血、ハンカチについたのをその後鑑識で調べたところ、どうやらメンスの血をハンカチにつけての狂言らしい、に係官二度あいた口がふさがらなかった。

## 黒人兵の寝乱姿に嫉妬

### 枕探し女、浅草でご用



☆…一ヵ月ほど前台東区浅草象潟三の一九久保栄子さん方二階六畳の間で夜の女と全裸で寝ていた黒人兵L・ロードさん(二九)が身ぐるみはがれた事件は既報の通りだが、その犯人が意外にも女で数日前浅草署にご用となった。これはその後日譚！。犯人は住所不定、無職林末子(二〇)その夜顔見知りの夜の女がクロちゃんをキャッチし久保さん方にしけこんだのを見届け、『ラーメンでもご馳走になろう』ところ合いよろしく部屋の前まで行き襖を開けるとグッスリ疲れて寝ているご両人の枕許に座って、一服つけていたが林は見るともなく男の寝乱姿？を見て心乱れ嫉妬、Lさんのズボン、シャツほか米ドル十四ドル、現金四千円を盗んでドロンしたもの。取調室で彼女曰く『アチラさんのご立派な所持品を見せられたら誰だってボーッとなり、ヤケで盗みたくなるワ…』といっていた。

## チャッカリ"マンボ結婚"

### 娘を奪われ泣ッ面の父親

☆…十四日夜浅草署の刑事部屋で丸ノ内の某有名会社に勤続三十五年の経歴を持つ課長古山悠平さん(五〇)＝仮名＝と浅草雷門の料亭Yの女将が深刻な顔をして相対していた。話というのは古山さんの長女文子さん(一九)＝仮名＝がアルバイトに銀座の喫茶店で働いているうちマンボスタイルの高橋芳雄(二三)＝仮名＝と恋愛行進曲から結婚へ…彼氏曰く『僕のお父さんは九州の福岡で手広く雑貨商をやっている。あなたの将来はキット保証する……』と古山さん一家を説き結婚の約束までした。式場は目黒の雅叙園という高橋の予定を『あまり無駄な経費をかけるよりもその金は愛の巣へ』という古山さんの意見から浅草の料亭Yとなった。古山さんは男の実家について半信半疑でいたがその後時価五、六十万円はする花嫁衣裳が結納代りに届けられた。さすがは九州の豪商と安心した古山さん一家が結婚当日Yに来てみると高橋の身内は一人も来てない。ともかく式は目出度く済せて新郎新婦はハネムーンに出かけ、残った花嫁の身内十数人がそれぞれ引揚げたが、新婚夫婦はそのままいつまでたっても帰ってこない。そのうち文京区本郷の貸衣裳屋から十万円、Y料亭から五万円と矢のような代金請求に、初めて一杯食わされたと知った古山さん『金は私が必ず返します、娘も気の毒だが好き合っているなら深くはとがめない、早く帰ってほしい』と老いの眼をショボつかせていた。

## マ王女にダイヤ

### タウンゼント大佐が贈る

【ロンドン十六日発UP＝共同】英紙サンデー・ニュースが十六日付紙上で信頼できる筋の報道として伝えるところによれば、マーガレット王女とのロマンスをうわさされるタウンゼント空軍大佐は十四日夜、ウィンザーで王女と夕食をともにしたとき、シャンペンで乾杯しながらダイヤモンドの指輪を贈ったといわれる。

## 近藤天氏きのう帰国

去る九月初旬パリで開催された第三十四回国際体操連盟（FIG）総会に出席した体協常務理事近藤天氏（本社監査役）は十五日午後五時二十五分羽田着のBOAC機で帰国した。

**中山競馬最終日成績**（晴馬場良）◇第一ア（千）①タマオー（八木沢）1分6秒0②トキワオー、ダイオー同着（単）510円（複）二〇円③100円④1?0円（連）⑤―③400円（連）⑤―④13?0円 ◇第二ア（二千六百）①レイキング（土筱）3分0秒1②ヤヒロ③シンリヒト（単）140円（連）①―②330円 ◇第三サ（二千六百）①アヅマハタ（富田）2分53秒1②ミスミハル③カネハタ単110円連②―①130円重⑤―①―②960円

**松戸競輪三日目成績** ◇第一B（千）①椎野専1分25秒3②竹内清③栗原昭（単）330円（複）150円170円520円（連）⑥―②135円 ◇第二B（千）①小林吉1分23秒8②高倉稔③川島弘（単）1050円（複）180円150円440円（連）⑤―①3420円

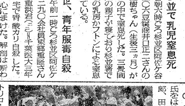
**あすのスポーツ** △アイスホッケー、第二十回早慶対抗定期戦（五時、後楽園アイスパレス）△競馬、大井第二日（正午、大井）

## 独眼灯

○…行楽シーズンだがこれは変った大人の運動会―好天に恵まれた十六日午前十一時から二子玉川園でゆうもあくらぶ運動会がにぎやかにくりひろげられた。

○…集まったのは会長徳川夢声氏をはじめ石黒敬七、岩佐東一郎、田村泰次郎、奥野信太郎、三木トリローの各氏を交えた会員、家族五百名。『この運動会は一番でもビリでも同じことである』との徳川会長の迷？挨拶があって開幕。

○…『私はおさんどん』『のらりくらり』など"ゆうもあくらぶ"らしい番組があり、みな童心にかえってハメを外した一日を送った。


【写真はおさんどんゲーム、中央夢声氏一人おいて右へ石黒敬七氏、二子玉川園グランドで】

## 杉並で乳児窒息死

十六日朝六時ごろ杉並区阿佐ケ谷三の五〇六豆腐商井口正二さんの五男正樹ちゃん（生後三ヵ月）がフトンの中で窒息死した。三畳間で七人の親子が寝ており杉並署では母親の乳房かフトンによる窒息死とみている。

## 厭世、青年服毒自殺

十六日午前一時ごろ杉並区阿佐ケ谷三の二九〇会社員東郷重隆さんの長男重洪君(二三)＝千葉医大三年＝は自宅で青酸カリ自殺した。解剖は断わる。『虚栄心にまけた』の遺書があり杉並署の調べでは厭世から。

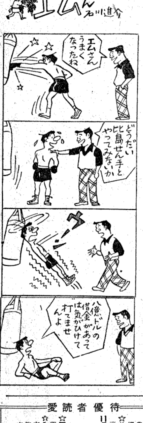
## 陛下から金一封

### 故安藤氏霊前へ

故安藤正純氏の遺体は十六日午後東本願寺浅草別院に安置されたが天皇陛下は午後四時半お使いとして小畑侍従を同別館にお遣わしになり、祭し料金一封を霊前に供えさせられた。



エムさん 石川進介 316



# 続 情炎の千代田城 (270)

岩崎栄
寺本忠雄 画

火煙血煙（九）

どこからか、お静がこの納戸に忍び入って来た。そして呆然と、十畳のまんなかに突っ立っていた。木人という男の才智と胆略とに、いまさらながら舌を捲いているのだ。畳をすっかり、三重にも五重にも、雨戸に立てかけ、これに二、三十本の槍や薙刀や刀を突っかい棒にしてあるのだ。武器倉から、ありったけのものを持って来たのだろう。むろん一人で出来るわざではない。山窩の連中を使ったのではあろうけれど、これでは外からいかに突いても、体当りをくれても、ビクともしないのが当然だ。あらゆるこの部屋への出入の戸襖など、悉く釘付け、カスガイ止めにしてある。お静はランマから忍び込んだのであるが、とうてい、忍びの術以外でこの部屋に入り込むことは不可能だ。さて、しかし、木人はどこにいるのか、まるで影もかたちも見当らぬ。

『ギャーッ』

雨戸の外で、だしぬけの絶叫と叫きが起った。

『むウッ。やられたッ』

『おのれッ』

『ウワーッ』

三人か四人、瞬く間に斬り伏せたらしい。

『木人だぞ！』

『要心ッ』

『逃げたァ』

『それッ』

お静は畳のない床板の上に、やはり呆然としていたが、その踏んでいる足の下で、不意にゴトゴトと物音だった。

『なてな？』

踏んでいる板が、グイと持ち上った。ハッとして身軽に飛び退いたあとに、床板が一枚ズレて、誰かがヌウッと、仁木弾正みたいにセリ上って来た。

闇でもお静には術の眼がある。おぼろげながら、その人物が見わけられた。殺した小声で、

『ま、先生！』

寄って来たのが、ヒシと腕を握って、

『お静！』

『はい』

なんとなくお静の胸が燃えた。無意識で抱きついていた。



外の庭で、

『あ、太田川氏だ』

『おっ、八角先生！』

その八角の声で、

『各々方！ 木人はこの納戸に居るのじゃな』

太くて、しっかりとした、錆のある声に、一流の剣客たちが、すっかり圧倒されているらしい。

『は、木人であるか、或は他の何物でござるか。とにかくこの雨戸が、どうしても破れませぬ』

『表の方から――どこかの部屋から入って行けぬのか』

『すべてが火の海ですからな。どこもかしこも』

『ここに斬られているのは？』

『秋元藩の師範とその手の人たちで』

『そんなことを聞いてはおらぬ。軽率なことをいわっしゃる』

他の一人が、

『ただいま、すこしさきに、木人らしいやつが、ここに斬り込みましてござる』

『うむ、それで？』

『まるで風魔の如くにあばれて、さっと消え失せましてござるが』

暫く、黙っていた八角が、

『わかった。ユカの下だ！』

---

# 私のコレクション ⑬

## 豆盆栽

### 中村是好（喜劇俳優）



# 自他ともに許す"世界一"
## 人は見かけによらぬもの？

（戦）災から焼け残った葛飾区下千葉町、辺りを見回してもおよそ映画スターの住いなど見当りそうもない。古びてくすんだ商店街の裏、門構えらしいものもなく、二階一間、階下が三間ほど、何の変哲もない一軒の小住宅が彼の住いである。中へ入って胸を突くような狭い階段を上り二階へ案内される。ここまでは何でもないが、南面のガラス戸をガラリと開けるとこれは凄い！ 軒下の縁をギッシリ目白押しに占領しているのは何と三百数十種もの豆盆栽だ。その上、それぞれ銘のある高価な小鉢が六百余も。これが自他ともに許す"日本一"ものが豆盆栽だけにすなわち"世界一"ともいえるコレクションなのだ。そして一般にこそ世界一の盆栽家が中村是好だということは知られないでも、およそ日本と外国とを問わず、盆栽家で彼の名を知らないとしたらそれはモグリというものだ。なぜかといえば日本の機関紙『盆栽』をはじめアメリカの『DWARFED POTTED TREES』（盆栽）誌にしろ盆栽と名のつく世界の文献に彼の名や写真が出ないものはほとんどないからだ。

（そ）の一つ一つが掌の上に乗りながら、深山幽谷の趣をしのばせ、あるいは千年の樹齢を思わせる古木ぶりを持ち、かと思うとみのりの秋をそのままに、かきといわずりんごといわず、およそ実のなる木はそのすべてが、小さなはちの上にサン然と可愛らしい実をつけている。いつかある僧侶が立ち寄って、これらの盆栽をながめた末『ウーム、これにはあんたの魂がこもっておる。ワシにはそれがみえるようじゃ』と感嘆したというが、こうした丹精ぶりこそは彼自身宗門の出であるのに加えて、この道に二十五年の精魂をうちこんだ愛情の結晶なのであろう。『これは最近、名も知らぬアメリカの人から、ぜひあなたに育てて欲しいといって、綿にくるんで送られた実なんですよ。実生（みしょう）で立派に育ててみようと思っています』といってリンゴの種子ほどの小さな粒を大事そうに取り出してみせる。そうして欧米各国から来た雑誌や手紙や包みなどの類も、キチンと整理されて押入れにつまっているが、彼の目下の野心は俳優としてでなく、一盆栽家として、この趣味が盛んなドイツを漫遊してみたいことだそうだ。

（陶）工柿右衛門と同郷の彼は、陶器にもまた造けいが深い。有田の小鉢には"是好"の銘ある逸品もみえる『先日この鉢を一万五千円で譲ってくれという人が来ましたがとんでもないと断わりましたよ』そんな安もの（！）ではないんだそうである。とすればこんな握りこぶしに入るようなヤツが六百というから、鉢だけで最低一千万円がとこはある勘定だ。こないだの二十五号台風が、マトモにぶっつかったら、失礼ながら吹けば飛ぶようなささやかなシモタ家。その中に存在する世界一のコレクション。そして以前はエノケン一座にいたコメディアン是好にこの渋い趣味。おゝ、人は見かけによらぬものです。

▽―△　▽―△

---

# 三月に撮影を開始
## 初の日仏合作映画「散歩しましょう」

# 主演にダニエル・ダリュウとジャン・マレエ
## シナリオ担当のタクラ氏来日談





㊤ダニエル・ダリュウ　㊨ジャン・マレエ

☆松竹と佛フ・プロダクション・テルディスティック・シネマトグラフィックとの間にすすめられている合作映画『散歩しましょう』はすでに有馬稲子に主役候補の白羽の矢が立てられ話題となったが、十四日同映画のシナリオを担当するジャン・シャルル・タクラ氏が来日、この作品にはフランス映画界のトップスター、ダニエル・ダリュウ、ジャン・マレエが出演することが判明した。☆

『散歩しましょう』はトーマ・ロカのベストセラーで去る七月同作品の配給を承るパテの社長ジャック・アンドレフェ、監督のイヴ・シャンピ両氏が来日し、日本の出演女優としては有馬稲子に白羽の矢がたてられるなど、諸般の打合せを行って帰仏したが、十四日来日したタクラ氏はつぎのように語った。

◇　◇　◇

『散歩しましょう』はイーストマン・カラーによるシネマスコープ映画として製作するもので撮影は全部日本で行うことになっており、フランス側の出演者は女優ではダニエル・ダリュウジャン・マレエが決定。また『悪の決算』に出たドイツ人俳優ゲルト・フレーべも出演することになった。撮影は『美女と野獣』のアンリ・アルカンで、来年三月から三ヵ月間にわたって撮影することになっているがロケは長崎、神戸が中心となりセットは松竹大船でやる。シャンピ監督が十一月上旬に来日するまでに私はロケ地その他を検分し、シャンピ監督の来日をまって松竹側のシナリオライターとも打合せ、決定稿を書く順序でいる。



ジャン・C・タクラ氏

なお『散歩しましょう』のストーリーは目下のところ次のようなものという。

―日本の港湾会社に働くフランス人がいた。彼は日本がだんだん好きになり、日本のガールフレンドとの結婚を真剣に考え始める。彼女も彼をよく理解し二人は結ばれようとしたが、ある日フランス船が入港し、その船客の中に彼のノスタルジーをかき乱すようなパリの香をふんだんに振りまく一人のフランス女性がいた。こうして国の異る二人の女が一人の男をはさんで対立する…。折しも起った地震、残されたものは廃墟であった。パリの女は帰国してゆく―。

---

芝居みたまま

# 手堅い新羽左
## 好調の菊五郎劇団＝『石切梶原』（歌舞伎座）

○…歌舞伎過去帳の中でも大分先輩格になった十五世羽左衛門、六世梅幸の追善に彦三郎の十七世羽左の襲名を兼ねて中の好調である。新羽左の『石切梶原』は慎重第一で大過ないのは日頃の研究熱心を物語り、松緑の大庭、九朗右衛門の俣野がよくたすけ、鯉三郎の六郎太夫が貴重品。海老蔵の『盛綱陣屋』は目隈に朱を入れすぎるのは気になるが思い入れも十分で派手に飛ばさず一段の伸長。多賀之丞の微妙が気品も上乗で夏雄の小四郎との愛情は見事なお涙物。羽左の和田兵衛の赤塗りも安心してみられ、梅幸の篝火に福助が早瀬よく対抗している。

○…『先代萩』は『対決』と『刃傷』で、松緑の仁木がボリュームも加重し、左団次の外記が内輪にしめて好演だが、海老蔵の勝元の明瞭にかすれ、小伝次の山名も低調を極める。『浮名横櫛』は『見染め』から『源氏店』までの通しで、海老蔵の与三郎、梅幸のお富の色模様は当代一だが、海老蔵の羽織落しはまだ堅く、ゆすりも風邪のせいか浮き立たず、松緑の蝙蝠安も悪じゃれに陥っている。

○…梅幸（かさね）海老蔵（与右衛門）の『累』はともに美しくまとまった小品。ただ幕切れの運理引きは老けこむにはまだ早く、発刺とありたい。松緑の『土蜘』は妖怪味をただよわし、手堅さも加わり、羽左の頼光もよいワキだが九朗右衛門の独武者、市蔵、大輔、菊蔵、秀公の四天王はまだ修業不足。他に掘り出し物としてはちとズレが目立つ『両浦島』と『口上』がある。（杏）



【写真は『石切梶原』の羽左衛門（中央）】

---

# "名人会"に『東宝娯楽版』が登場
## 南、泉、エリックのトリオで



二十一日から三十一日までの東宝演芸場東宝名人会に、南道郎、泉和助、E・H・エリックのトリオによる『東宝娯楽版』がデビューする。これはさきに国友昭二との漫才コンビを解消した南が、日劇ミュージックホールから日劇へ進出して来た新谷登改め泉和助と、これもまたミュージックホールなどで活躍していた日本生れの混血児エリック（日活の岡田真澄の実兄）と申し合せて、新形式のギャグと風刺の新トリオを結成したもので、南と泉は出演中の日劇『秋のおどり』とかけ持ちで名人会に出ることになっている。【写真は泉和助】

# 松竹『ほがらかさん』と『茶の間の時計』映画化

松竹では連続ラジオドラマ『ほがらかさん』（原作佐々木恵美子）の映画化を決定。脚本光畑碩郎、主演野添ひとみで準備に着手した。なお新生新派で上演好評の『茶の間の時計』（原作北条誠）を松竹で映画化される。脚本は中村碇郎。

五雲会能　二十二日一時、水道橋能楽堂『枕慈童』宝本秀雄『大仏供養』近藤乾之助『百万』大坪十喜雄『須磨源氏』小倉輝泰、狂言『呂蓮』和泉保之『蝸牛』三宅藤九郎。

---

# 日旺サロン
# お色気談義
### 藤間紫



私は　もともとお色気なんかにはほど遠くて大変威勢のいいお転婆なんです。それなのに映画となると、芸者だとかバーのマダムだとか、あるいは若い男の子を誘惑する年増だとかとにかくお色気を出さなくちゃいけない役が多くて困ります。引受けて、いざやろうというときになって、その一念でにわかに肉体的条件が整うわけもありませんから、まあせいぜい日常、家に出入りする芸者さんの腰の下ろし方を観察したり、女中が恋人らしいのに電話をかけているときの、およそふだんとは違った何ともいえないうれしそうな顔を盗み見てナルホドと独り合点をしたり――というような勉強（？）もしておいて、色っぽさとまでは行かずとも、それに近い雰囲気を出そうと努めはしているつもりなんですが……。

ところが、実際にのぞむとなかなか思い通りには行かないもので、もう五年前になりますが、私が映画に出だしたころのことです。大映の『浅草の肌』で初めてキス・シーンをやりました。相手はベテランの二本柳寛さんでしたが、それがやっぱり映画のキスは最初だったんだそうです。監督の木村恵吾先生が『はい、抱いて下さい』と合図をなさるとコチンコチンの二本柳さんが『では、失礼いたします』とうやうやしく抱いて下さるんですよ。私はというと、平素の心構えはどこへやら、もうスッカリ逆上してしまい、迫って来る二本柳さんの眼も鼻も口もみんな二重に見えて気が遠くなりそうでした。全く材木と材木が抱き合っているような、およそ悩ましいお色気などこれっぱかしもないラヴ・シーンだったろうといまでも冷汗の出る思いです。それから何本となく出てはいますが、お色気シーンとなると、いまだに自信が持てません。

映画では二枚目半や三枚目をよくやる私も、舞台では二枚目で悲恋ものが多く、従ってラヴ・シーンもしょっ中ですが、何人かの相手役の中では勘三郎（中村）さんのときが一番うれしいですね。といって気を回されては困りますが、実に細かく気を遣って下さるのです。心から切ない気分の出せるようないい眼をして下さるし、手を握ることひとつにしても、デリケートで、恋人同士が愛情こめて手をふれ会うということの、新鮮で胸のときめくような感覚を持たせて下さるのです。そういう点、舞台の相手役に対する情の深さが、勘三郎さんの人柄の中に感じられていつも感謝したい気持になります。

これはむしろ男の方のお色気ですが、勘三郎さんから感じ取るものを、私が舞台や、映画で相手の方に与えられるのは、果していつのことでしょうか。

---

# 都々逸名選
小沢扇太郎選

朝のお膳に玉子が二ツ　なんて気のきくお湯の宿　人形町・希三本

あとで泣いてるくせに　喧嘩別れのへそ曲り　向島・お駒

猪口をコトリと置いてる膳に　話相手が欲しい秋　蒲田・大塚寧涼

昼の銭湯がせめてのゆとり　しみじみ眺める壁の富士　練馬・飯田光泉

約束の場所が違っていないかしらと　迷い出させて待ち呆け　熊谷・エンゼル

◇

今は誰かの持ち物らしい　野暮に聞くまい久し振り　選者

# はと笛

▽…松竹大船の藤乃高子は大変な笑い上戸で、しかもその笑い声の大きいことといったら、秋の山野にいななく三才駒の雄叫びのごとく、あるいは深い谷沿いの小径を歩む旅人を驚かす笑いカワセミの啼き声のごとく、あの小さい体のどこから来るかと思うような、四辺にとどろき渡るスッ頓狂なもの。

▽…さる日も『あこがれ』のセットに遊びに来た彼女、仕事の合間に、小山明子、中川弘子らを相手に駄弁っていると思ったら、ステージ中に響くような笑いを爆発させた。驚いて飛んで来た中村登監督が『鳥寄せの名人てのはあるが、君は人寄せの名匠だな』と呆れながら感心すると彼女『その代り、内緒で、しんみりの逢びきなんてダメでしょ、だからいまだに恋人ができないんですよ』とはナルホドね。



【写真は藤乃高子】

---




結婚シーズン
朝晩めっきりあたたかくなった。
―新婚夫婦





---

# ラジオ・プログラム
17日（月）

| ★NHK第1★ 590KC | ★NHK第2★ 690KC | ★ラジオ東京★ 950KC | ★日本文化★ 1130KC | ★ニツポン★ 1310KC |
|---|---|---|---|---|
| 7・45 朝の訪問 対談 清水薫三 渡辺鉄蔵 | 7・30 民主主義の政治機構 最高機関として国会 | 8・35 花ふたたび 永井百合子ほか | 8・10 おしやべり 楠トシエ | 8・00 サザエさん 野中マリ |
| 8・05 テノール独唱 ベニヤミーノ・ジーリ | 8・30 ヴオーン・ウイリアムズ❶ロンドン交響曲 | 9・05 チヤツカリ夫人 | 9・00 録音 海苔の季節 | 9・45 劇 田之助紅⓭舟橋聖一作 喜多村緑郎 扇雀 |
| 8・30 千島の海❶ 武富栄一 | 11・30 アラビアンナイトより | 10・10 葛飾砂子❷香椎くに子 | 10・25 住いの知識 | 10・00 劇 花は燃えている |
| 0・30 出世神田祭 桃川若燕 | 0・30 食後の音楽 アメリカ第293軍楽隊 | 11・05 新警察日記 | 10・45 劇 君ひとすじに | 11・00 おばあさん 長岡輝子 |
| 1・05 二十世紀の女性 マリエル・レスター | 1・15 交響曲の時間 | 0・30 歌のアルバム | 11・35 東京の人 神山繁ほか | 0・00 ⓭上州鳥 糸路 洋児 ❷権助魚 桂木多蔵 |
| 2・05 箏曲二題 | 3・00 生田春月の詩の解説朗読 楠義孝 | 1・20 母の自画像 細川ちか子 | 1・00 レヴユー展望 | 1・00 中野実作 土曜日の天使⓭ 吉川佳代子ほか |
| 3・15 雨跡 浜田康ほか | 4・00 デイスクジヨツキー | 1・30 座談会 中国の暮し 奥野信太郎 戸叶里子ほか | 2・15 夫の眼から妻の眼から | 1・35 やりくりチヨ子さん 左幸子 |
| 4・15 ピアノ独奏大月登美子 | 4・30 人間機関車❸ | 2・05 浪曲ドラマ 怒りを買つた男 国友忠ほか | 2・35 サムライの末裔 | 2・00 劇 君を愛す |
| 5・30 歌謡 松浦律子 | 6・40 科学クイズ みのりの秋 伊藤淳子ほか | 6・25 バイバイ・ゲーム | 4・00 コンサート・ホール | 6・00 ポツポちやん物語 劇団東芸 |
| 6・25 オテナの塔 | 7・00 二十世紀の歌劇 ペレアスとメリザンドから | 7・30 四つの明星 勝太郎 青木はるみ 島倉千代子 | 4・30 鷺娘 和歌山真五郎 | 6・15 劇 シンバの冒険❶ |
| 7・30 三つの歌 | 7・30 座談会私の好きな若い女性 伊藤道郎ほか | 8・00 ガラスの青春 芥川比呂志 有馬稲子 加藤治子 | 5・00 イヴニングコンサート | 7・30 何処へでも 子供らのために 森博ほか |
| 8・00 お父さんはお人好し アチヤコ 浪花千栄子 | 8・05 座談会 教科書問題をめぐつて 古谷綱武ほか | 8・30 私が買いましよう | 5・40 新ターザン物語 | 8・00 鉄舟とその妻 玉川勝太郎 |
| 8・30 浪曲 心中こぼれ話 春野百合子 | 9・00 名作劇場 盲音楽師 | 9・10 銭形平次捕物控 猿回し 滝沢修 汐見洋ほか | 6・00 少年宮本武蔵 | 8・30 フランキー歌う大学 |
| 9・15 街録 国鉄総裁に望む 東京大阪二元放送 | 11・20 第一回アジア歯科医学会から❷ 松宮誠一 | 9・35 ❶万才 秋田Aスケ Bスケ❷心臓 円歌 | 7・20 ものまねコンクール 二元放送 市村俊幸 | 9・00 劇 月遠けれど 月丘夢路 三橋達也 |
| 9・40 春子の手帳 | | | 8・00 親子三代演芸会 | 10・00 南無三宝 本郷秀雄 |
| 10・15 録音構成 間借り生活 | | | 8・30 雪之丞変化 中車 | |
| | | | 9・00 浪曲 怪僧善達❸ 玉川勝太郎 | |
| | | | 9・30 山霧の深い晩 金子信雄 奈良岡朋子ほか | |
| | | | 11・00 青空会議 統一社会党に望む 鈴木茂三郎ほか | |

---

# その道をきく －67－

どんな商売でも、権威、成功者と呼ばれる迄には、それ相当の苦難もあろう。そこをどう乗り越えたか？"その道をきく"のは、以って他山の石としたい念願にほかならない。

## 伝統と歴史の力で見事に再起す
### 西村金融の異常な躍進

今年の四月、西村金融（新宿西口）が見事カムバックしたとき、世間はアッと目を見張った。全国に二千数百を数えた庶民金融がいわゆる保全旋風次々に倒壊していったとき、西村金融もそのあおりをくって一種の混乱状態に陥ったのだった。その結果幾回か債権者会議が開かれ、破産か、再建かを巡って真剣に意見が闘かわされたが、再建案を支持するもの九七％という圧倒的数字で和議が成立、東京地裁からその決定言渡を受けたのであった。

当時、裁判所では西村金融の実態をあらゆる角度から調査、その破綻が営業面の失敗からでなく、全く社会情勢によるものであることを認め、しかも社長西村小三郎氏の多年の経験手腕と実績から推して、経営よろしきを得れば、会社の更生は決して困難でないという見透しのもとに、再開えの漏き手を差しのべたのであった。

その後の同社は、予想通り着々と成果をあげ、再起六ケ月で都内に十五ケ所（池袋、上野、金町、五反田、亀戸、新小岩、虎の門、板橋、北千住、大森、自由ケ丘、荻窪、向島）都外三ケ所（船橋、浦和、府中）の支店を設置、さらに十ケ所の増設を計画中というこれまた驚くべき発展をみせている。

近い将来に『西村銀行』への躍進もうわさされているほどであるが、西村社長の経営上の熱意と慎重さは、同氏が、毎日朝の八時から夜十一時まで、社員から報告聴取、一々これを検討、その上で決裁していることをみてもうかがい知ることが出来る。目下月間十億の貸出しを目標に全社員が火のような活動を続けているが、同社の将来こそ注目に価いしよう。

なお同社の貸付けは、日賦返済で、利息は日歩三〇銭、手数料調査料などは一切とっていない。

## 文化人の集る銘菓舗
### 純フランス式で名を売る柳屋

停酒して菓子の甘さを春の宵。

これは徳川夢声老が洋菓子舗柳屋に贈った一句である。

『柳屋のフランス風菓子は、本場のパリの菓子に負けない生クリームのふっくらした甘さ。それでいてちっともひっこくない独得の味わい…都心まで出なくても、こんなうまい菓子が食べられることは中央線に住む者にとってありがたい』と田村泰次郎氏も大鼓判を押せば『洗練された甘味』と鈴木信太郎氏『フランス風に甘みをころした洋菓子の味覚』と宮田重雄氏はいう。

その他丹羽文雄氏、宮田輝さん小谷良徳画伯など、左右両党の面面が子供のように喜ぶ『柳屋』の洋菓子とは、そもそもどんななりたちか？。

友情に特に厚いと定評の柳屋主人東井重喜氏は高輪商業の出身一時家業の貿易商を営んでいたが戦争で大陸に転戦、荒れ果てた故国の土を踏んだとき、甘い菓子で人々の心を少しでも和らげようと思って始めたのがまんじゅうの委託加工業だった。荻窪北口駅前の新興マーケットのこの店が、ぼつぼつ人の口端にのぼるようになったとき、しるこやパンと和洋菓子と一歩一歩前進して、今では荻窪四丁目新興商店街と西荻窪一丁目駅南口に売店を杉並区天沼一丁目に工場を有する程の大店となった。



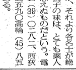
何よりもあせらず、地道に仕事をつづけたことが成功のカギといっていい。

結婚式、パーティなどには一千名迄の注文は必ず期日に仕上げるというから、その工場能力も大したものだが、それより各名士が絶讃する洋菓子の味は、とても素人上りとは思えぬものだという。電話は荻窪店（39）〇二八二、西荻店（39）五五九〇高輪（45）八五八五番である。

## 苦労人で世話好き
### 斗酒辞せぬ日の本研磨　下村社長

苦労人で世話好きで業界随一の酒豪家として知られる墨田区緑町三ノ二『日の本研磨材KK』の社長は下村富蔵氏である。

昭和七年の業界入りで、独立当時は個人経営だったが、二十四年一月資本金百万円で株式組織にした。従業員十八名、年間一億三千万円を売るというから、その商高は業界でも右翼に属しよう。需要家に迷惑をかけないよう、品種を多くそろえて何でも間に合うようにしている種目の多さでは全国でも一番だ。



苦労人で、特に出発当時は不況のどん底だった為、商法は地味だが、他人の苦労がよく解るからいきおい世話好きになる。組合理事長として、多くの業者に慕われているのも、こうした人格のせいだろう。その他町会長、防犯協会の支部長など勤め、あらゆる方面で重きをなしている。奈良県の産、満四十才、趣味に麻雀をやるが室内遊戯は何でもうまい。酒は飲ませれば斗酒辞せずというのもほんとうだ。

## ステッキやホーデン料理も
### 日本橋の味覚・丁字



日本橋三越を昭和通りへ抜ける道の左側、富士紡隣りに四階建の小さなビルがある。これが喫茶と料理で界隈に名を売る『丁字』である。一階は喫茶、二、三、四階はお座敷と料理という多角経営の店である。

主人の林氏は四十才。飲食店に育ったというから生粋の業界人だが、変っているのは他店では到底食べられないもの――牛の脳ミソとか、ステッキだとか、ホーデンまでお好みとあれば料理してくれるという。コーヒー店として戦後日本橋では最も古い味覚の店だ。

## 釣り人の心になって売る店
### 京橋・つるや



昔、道楽だった魚釣りが、戦後は大衆のリクリエーションとなったといわれる。それだけに、釣りを愉しむのは老人から婦人、子供まで、一家ダンラン型もずい分ふえた。

それだけに釣道具屋さんもその要求や好みに応じて千差万別の構えを取るのがサービスだ。こういう点で、何といっても釣り人に人気のあるのが京橋交叉店日本橋寄りにある『つるや釣具店』だ。創業は昭和六年。社長の五十嵐忠造氏は自から先に立って"儲けより客の身になれ"を実行している。

## 正攻法でジリジリ攻める
### 囲碁も商法も同じ　荒川砥石



研磨業界でその人ありと知られた阿部新兵衛氏は『荒川砥石株式会社』の社長さんである。本社は荒川区尾久町二ノ二二四にある。

商売が室内的なせいかどうかは知らないが、この業界には麻雀、囲碁などの名手が多い。阿部社長もその一人である。岐阜県の生れで中京商業卒業。昭和十四年に業界に入り、始めは個人企業であった。二十一年に法人組織として、現在はこじんまりと六人の社員でやっている。

"いたずらに販路を拡げるより良いものを売り、永久的な顧客を摑みたい"というから、ハッタリ気のミジンもない人格といえようか。囲碁をやっても、正攻法でジリジリ攻める型であろう。現在組合の理事を勤め、その手腕はかなり高く買われている。納品先の工場など絶えず視察して、納品の状況をみるというのも偉い。



---